

(2020年度)

5 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能を使用してはならない。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の問題文は、古代日本における東国の反乱についてまとめたものである。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

日本古代における東国地域には、早くから中央を圧倒する勢力が育っていた、といえるかもしれない。天皇(大王)の系統が大きく入れ替わった(ア)天皇の前後には、列島社会が大きく動揺し、筑紫では国造磐井の反乱があったほか、東国でも(イ)国造の内紛があった。前者では糟屋屯倉(現福岡県)が王権に献上され、後者では横渟(現埼玉県)など4ヶ所の屯倉が設けられた。また、天智天皇後の皇位継承をめぐる勃発した(ウ)においては、大海人皇子が美濃の不破^(a)を拠点とし、自らの扶養氏族が分布していた東国の兵を糾合、ついに近江朝廷側に勝利するに至った。ヤマト王権の軍事力の要をなす^{はせつかべ}文部を率いる上毛野氏ら有力豪族が蟠踞したほか、その勇敢さを恐れられた(エ)が東北にわたって勢力を持ち、軍事の拠点・反乱の危険という両義性を持つ、強幹な地域だったわけである。

その東国を舞台に武士たちが活躍を始めたのは、(オ)天皇に連なる葛原親王、その孫(あるいは子)の高望王が勢力を扶植してからである。平安初期、各地の荘園から中央へ物資を運ぶ流通が活発化すると、これを襲う群盗、すなわち盗賊や海賊が増加した。東国では、(カ)と呼ばれる「富豪の輩」が、駄馬を用いて物資輸送に従事しつつ、東海道と東山道を往還して略奪をも繰り返していた。朝廷は、追捕官符を発して(キ)や(ク)を任命し、その鎮圧に当たさせた。これを担ったのは国司である場合もあったが、地域に独自のネットワークを持つことが有利であったため、在地に勢力を築いた武士たちが、その役割を果たすことも珍しくなかった。例えば、下記の平将門の乱において、下野(ク)として活躍した(ケ)は、数年前には下野国司からその濫行を朝廷に訴えられている。

承平(931~938)の頃から同族間の内紛の渦中にあった平将門は、天慶2(939)年、武蔵国における国司・郡司の争いに介入、次いで常陸国の土豪藤原玄明に荷担し国府を攻めるに及び、彼の行動は王朝国家に対する反乱へと展開した。彼は、諸国の国司を追って一族郎党に除目^(c)を行い、ついに「新皇」と名乗って関東の

独立を謀る。しかし、翌年には(ケ)と、従兄弟に当たる(コ)に攻められ、敗死するに至った。将門の関東支配は数ヶ月に過ぎなかったが、その活動は関東の民衆にも大きな影響を与え、現在に至る将門信仰を生み出していくことになる。^(d) 事実、『師守記』には、将門が討たれてから二ヶ月後、その弟の将種なる人物と舅の陸奥権介伴有梁とが謀反を企てたとの記録があり、当時、将門の乱の余波は東北へと広がりつつあったことが分かる。

一方、そののちの関東では、将門から離反して朝廷側に付いた平良文の子孫と、将門を滅ぼした(コ)の子孫とが覇権を争い、長元元(1028)年には、平忠常が安房国守を焼き殺して反乱に至った。^(e) 関東に野心を持つ平直方^(f)が追討使として差し向けられたが、その鎮圧は3年経っても功を奏さず、長元3年に至って(サ)に交替となった。忠常はかつて(サ)の家人であったこともあり、戦わずして降伏、この出来事は源氏が東国に勢力を扶植する大きな契機となった。^(g)

なお、平良文の子孫からは、上総氏や千葉氏など、のちの鎌倉幕府を支える在地武士の一族が生じており、(コ)の子孫からは、代々鎌倉幕府の執権を務めた(シ)氏のほか、武士として初めて太政大臣に昇った(ス)らが輩出している。また、(ケ)の子千晴は中央の武力として期待され、村上朝の左大臣源高明に奉仕したが、(セ)に連座して隠岐国に流された。このとき、謀反を密告して事変の契機をつくったのが、(サ)の父親の(ソ)だった。そもそも、平将門の本主も、朱雀・村上朝に摂政・関白を務めた藤原忠平であり、中央の政治と東国の反乱が、密接に絡み合っていたことが知られるのである。

問1 文中の空欄(ア)～(ソ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ① 阿衡の紛議 | ② 足利 | ③ 按察使 | ④ 安倍貞任 |
| ⑤ 安和の変 | ⑥ 乙巳の変 | ⑦ 茨城 | ⑧ 蝦夷 |
| ⑨ 押領使 | ⑩ 桓武 | ⑪ 継体 | ⑫ 嵯峨 |
| ⑬ 淳和 | ⑭ 備馬の党 | ⑮ 承和の変 | ⑯ 壬申の乱 |
| ⑰ 征夷大將軍 | ⑱ 平清盛 | ⑲ 平維盛 | ⑳ 平貞盛 |
| ㉑ 平重盛 | ㉒ 刀伊 | ㉓ 追捕使 | ㉔ 那須 |
| ㉕ 新田 | ㉖ 仁徳 | ㉗ 藤原隆家 | ㉘ 藤原秀郷 |
| ㉙ 藤原元命 | ㉚ 北条 | ㉛ 源満仲 | ㉜ 源頼信 |
| ㉝ 源頼光 | ㉞ 源頼義 | ㉟ 武蔵 | ㊱ 雄略 |

問2 下線部(a)について。この出来事を踏まえて整備された令制の三関として相応しいものは、美濃・不破関のほか、何と何か。もっとも適切なものを次の中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ① 伊勢・鈴鹿 ② 越前・愛発 ③ 近江・逢坂 ④ 相模・箱根

問3 下線部(b)について、以下の問いに答えなさい。

(1) 次に掲げた文章のうち、国司・郡司の対立する背景を説明したものはどれか。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 受領として強力な権限を与えられた国守が、在庁官人に自らの郎等を据え、巨利を得ようとする欲求も手伝って、厳しく徴税を行ったため。
- ② 諸国を半ば私領のように委任統治していた国造に替え、中央から派遣した国司に管理させるようにし、支配地を郡・評として建てた国造は、郡司・評司に補任したため。
- ③ 開発を活発に行った有力農民が台頭し、郡司職を世襲してきた伝統的な郡司層を動揺させ、その対立に国司が介入するようになったため。
- ④ 地頭に任命された在地の武士層が、国衙領を次々と押領したため。

(2) 次に掲げた史料(部分)のうち、「尾張国郡司百姓等解」はどれか。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① ……竈には、火氣ふき立てず、甑には、蜘蛛の巢懸きて、飯炊く、事も忘れて、鶺鴒の、呻吟ひ居るに、いとのかきて……。
- ② 率土の百姓、四方に浮浪して課役を規避し、遂に王臣に仕へて、或は資人を望み、或は得度を求む。……
- ③ ……守元命朝臣、京より下向する度毎に、有官、散位の従類、同じき不善の輩を引率するの事。……
- ④ ……限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。……

問4 下線部(c)について。ここでの「除目」は、具体的にはどのようなことか。次の説明文のうち、もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 自分一族郎党に命じて、国守たちの目をくりぬく残酷行為を行った。
- ② 国庁の実務を担う目＝主典を排除し、自分一族郎党で独占した。
- ③ 収公の際に必要な目録の作成を行わず、一族郎党の思うままに国司の財産を没収させた。
- ④ 自分一族郎党を、関東諸国の国司へ勝手に任命した。

問5 下線部(d)について、以下の問いに答えなさい。

(1) 次のうち、平将門を祭神とする神社はどれか。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 神田明神 ② 祇園社 ③ 北野天満宮 ④ 明治神宮

(2) 平将門は、のちに怨霊として怖れられるようになる。このように、政治的敗者の怨霊により自然災害や疫病が起こると信じ、それらを慰撫することで災禍の鎮静化を図る信仰を何と呼ぶか。次の中から、もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 崇り神信仰 ② 神仏習合 ③ 御霊信仰 ④ 権現信仰

問6 下線部(e)について。次のうち、平忠常の先祖は誰か。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 平貞盛 ② 平将門 ③ 平良文 ④ 藤原秀郷

問7 下線部(f)について。次のうち、平直方の先祖は誰か。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 平貞盛 ② 平将門 ③ 平良文 ④ 藤原秀郷

問8 下線部(g)について。次のうち、源氏の東国における勢力扶植と、直接関係のない戦乱はどれか。もっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 前九年の役 ② 後三年の役 ③ 平治の乱
④ 治承・寿永の内乱

2 次に掲げる資料は、南北朝時代に成立した手紙形式の教科書の一部である。資料を参照しながら下記の説明の()内に該当する言葉を以下の語群から選んで番号を記しなさい。

御消息、忽^{たちまち}に披閱^{ひえつ}、珍重^{はなは}々々、甚^{はなは}だ玉珠を得るが如し、参拝に非ずんば、之^{これ}を謝し難し。抑^{そもそも}遼遠の間、輒^{たやす}く音信を通じ難きに依て、思ひ乍ら光陰^{なが}を馳す、遺恨深重也、何^{いず}れの時か之を謝せん。則ち案内を啓す可^べきの処に、路次の疲労、長途の窮屈、只^{ただ}茫然の外、他無し。恩問に依て、驚かざる、所也。
入境着任の儀式、着^{りむ}府吏務^{こと}の法儀、殊なる子細無し。在^り疋人等、日並の出仕、恒

例の奉行人等、等閑無し。^{おうばん}碗飯盛物積物以下、時節の景物を^{ぞうじくりや}尽し、^{ぞうじくりや}雑事厨種々の美物を調べ、^{しんてい}庁庭の経営、^{しゅしよ}留守所の結構、^{いち}市を成すが如し。

国の^{じゆんぎやう}遵行の事、^{おおすけ}大介、^{さいしよ}税所文書を留記す。公文、^{けちげ}田所の結解、^{くわんてい}勘定。書生、^{くわん}判官代の^{くわん}勘文覆勘。郡司、^{くわんしゆ}権守の日記、^{もくろく}目録。国宰、^{こめい}小目代の催促、^{くわん}廻文。下司、^{くわんしゆ}郷司、^{くわんしゆ}公事の引付。徴使、^{ていしゆ}定使の給分、^{かうぶん}交分、^{くわん}宛文。^{みやうしゆ}名主百姓の^{うけとりへんしやう}請取返抄。臨時の^{てんてい}点役の証跡、^{ごふく}御服の貢絹、^{てんしん}調進、^{じゆんけん}准絹、^{じゆんぶ}准布、^{くわん}濟例、^{べつくわん}別納、^{ちゆうしん}直進の請文、^{くわん}租穀、^{くわん}租米の送状、^{くわん}納所の^{そつぽう}率法、^{くわん}収納、^{くわん}徴納、^{くわん}濟期、^{くわん}現物、^{くわん}色代の償、^{くわん}来納過上の^{くわん}准抛、^{くわん}旱水兩損の^{くわん}検田、^{くわん}不熟、^{くわん}損亡の^{くわん}勘注、^{くわん}算用、^{くわん}散失の都合、^{くわん}勘合、^{くわん}敢て其^{くわん}煩^{わづら}ひ無し。

^{しかのみならず}加之^{かんすい}諸社の神拜、^{くわん}宮々の^{ほうへい}奉幣、^{くわん}寺社の入堂、^{くわん}節々の^{くわん}法会、^{くわん}連々の^{くわん}仏事、^{くわん}先例を守て、^{くわん}怠慢無き也。忽て、^{くわん}異儀の^{くわん}藜民無くして、^{くわん}納法の^{くわん}利潤莫太也。^{くわん}難濟の郷保無くして、^{くわん}土貢の^{くわん}現利巨多也。万事、^{くわん}雅意に任せ、^{くわん}一として^{くわん}違乱無し。心事多しと^{くわん}雖も^{くわん}紙面に^{くわん}尽し難し。^{くわん}併^{くわん}ら^{くわん}後日を^{くわん}期す。恐々^{くわん}謹言

十二月三日

越前守磯部

謹上 隼人佑殿

(A) この文章を収録する(1)は、南北朝時代に成立したと推定される幼学書(子供向けの教材)である。後醍醐天皇の倒幕運動にも助力し、足利尊氏が室町幕府を開創したときに制定された(2)の起草者の一人ともなった(3)の作とも伝えられるが、確証はない。世の中にあるさまざまな物事を、テーマを絞って列挙し、勉強中の少年に知識を与えるために考案された教科書である。1年12カ月、毎月1往復やりとりされた書状を集めた体裁をとることから(4)と呼ばれた。本書は室町時代に地方荘園の政所の備品になっていた事例も知られており、江戸時代には(5)の教材として出版され、広く用いられた。

(B) 12月の返事の書状という体裁をとるこの文章には、国司として地方に赴任した人物が、国府の仕事や役人の任務について羅列的に記している。日本におけ

る地方支配制度は、8世紀に(6)が整備された時に確立し、形式的には(7)に守護領国制が確立するまで継続した。この間、公領を侵食して国司の支配が及ばない(8)の拡大が進み、(9)の樹立によって検断権を握る(10)が設置されるなど、律令制によって規定された国府の機能や国司の仕事は形骸化したものが多い。しかし(11)が鎌倉幕府を倒して建武政権を樹立し、(6)の復元を指向したところから、地方制度も改めて見直されたものと考えられる。

(C) 新任の国司が任地に入る時には、椀飯や雑事厨などと称する宴会が行なわれ、国府に出仕する土地の豪族と新任国司の顔合わせが行なわれた。この文章では、「時節の景物」「種々の美物」など、多種多様の食材や贈答品が用いられたことを記述しており、モデルとされた(12)が、産物に恵まれた経済的に豊かな国としてイメージされていることが分かる。国司は(13)でしばしば交替し、あるいは任国に下向せず(14)のまま終わる場合も多かったが、国司の職務を代行する(15)という部局が国府の中に置かれ、(16)と呼ばれた代務者が仕事を取り仕切っていた。

(D) 国府に勤める役人を在庁官人と呼び、その国の有力者が世襲して職務に当たることが多かった。厳密には中央から移動してきた者を(17)、現地の土豪出身者を(18)と分けて呼んでいたらしい。国府の中には、さまざまな職務を分掌する「所」が設置されていたが、この本文の中にも(15)のほかに正税や官物を管理する(19)や田畠を管轄する(20)という名称が記載されている。

(E) 「国の遵行の事」で始まる3段目の文章は、国務の具体的な仕事内容を、そこで作られる文書形式を列挙して紹介している。年貢の収取に関する項目が多いが、中央から全国の国衙に出された命令を記録・管理するのは国司の代理を務める大介と(19)であり、結解(税金の決算)や勘定(会計)を担当する役職として(21)が挙げられている。日記・目録を記録・管理するのは(21)や

権守であり、農業に直接たずさわる(22)・百姓までもが年貢の支払いを証明する文書である請取・返抄を扱うなど、理念的な記述とはいえ、律令制下の文書による支配制度が徹底している様子がうかがわれる。

(F) 国司は、こうした年貢の徴収にかかわる経済的な仕事だけでなく、国内の神社の参拝や仏事の法会を主催する義務があり、想像以上に多忙な仕事をこなしていた。諸国には国の鎮守としてランクづけられた(23)以下の有力な神社があり、新任の国司はこれらの神社を巡拝して(24)する義務があった。国府のかたわらには、国内の有力神社をまとめて勧請した(25)が設けられ、国司は日常的に神々を祭ることを大事な仕事にしていた。武蔵の大国魂神社(東京都府中市)や尾張の大国霊神社(愛知県稲沢市)のように、国府が廃絶した後も(25)だけが残り、国府祭などの名称で国府が活動していた時代の繁栄をしのばせる大規模な祭礼が続いている事例も多く見られる。

〔語群〕

- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| ① 庭訓往来 | ② 明衡往来 | ③ 御成敗式目 | ④ 建武式目 |
| ⑤ 兼好 | ⑥ 玄恵 | ⑦ 往来物 | ⑧ 昌平贅 |
| ⑨ 寺子屋 | ⑩ 王朝国家体制 | ⑪ 律令国家 | ⑫ 江戸時代 |
| ⑬ 戦国時代 | ⑭ 室町時代 | ⑮ 荘園 | ⑯ 後醍醐天皇 |
| ⑰ 守護 | ⑱ 武家政権 | ⑲ 加賀国 | ⑳ 越前国 |
| ㉑ 遥任国司 | ㉒ 任期制 | ㉓ 留守所 | ㉔ 公文所 |
| ㉕ 政所 | ㉖ 官人 | ㉗ 検非違使 | ㉘ 目代 |
| ㉙ 税所 | ㉚ 郡司 | ㉛ 田所 | ㉜ 公文 |
| ㉝ 在庁 | ㉞ 名主 | ㉟ 官幣社 | ㊱ 一の宮 |
| ㊲ 奉幣 | ㊳ 納経 | ㊴ 遥拝所 | ㊵ 総社 |

3 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問1 次の文章の空欄(ア)～(シ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

18世紀に世界情勢が大きく変動する中、列国が日本に接近するようになった。まず、(ア)年には、ロシア使節の(イ)が(ウ)に来航し、(エ)などの漂流民を届ける一方、通商も求めたが、幕府は、通商を拒否した。なお、(オ)は、(エ)からの聞書をまとめた漂流記を出した。

それをうけて、幕府は、蝦夷地の海防強化を図り、(カ)年、幕臣の(キ)などに択捉島を探査させ、翌年には東蝦夷地を直轄地にしたが、(キ)は後年、『(ク)』を著した。

その後、ロシア使節の(ケ)は(コ)年、(イ)が持ち帰った入港許可証をもって来航したが、幕府が追い返したため、ロシア船は、択捉島や樺太を攻撃した。幕府は(サ)年、蝦夷地すべてを直轄として、(シ)奉行の支配下においた。

〔語群〕

- | | | |
|----------|---------|---------|
| ① 1790 | ② 工藤平助 | ③ 1797 |
| ④ 辺要分界図考 | ⑤ 津太夫 | ⑥ 1792 |
| ⑦ 1806 | ⑧ 1793 | ⑨ 1804 |
| ⑩ 大槻玄沢 | ⑪ 松前 | ⑫ 1803 |
| ⑬ ラストチキン | ⑭ 1807 | ⑮ 蝦夷 |
| ⑯ 大黒屋光太夫 | ⑰ 1801 | ⑱ バラノフ |
| ⑲ レザノフ | ⑳ 1808 | ㉑ 根室 |
| ㉒ 平山行蔵 | ㉓ 1796 | ㉔ 宗谷 |
| ㉕ 1805 | ㉖ 近藤重蔵 | ㉗ シェリホフ |
| ㉘ 1802 | ㉙ 環海異聞 | ㉚ 1799 |
| ㉛ 北槎聞略 | ㉜ ラクスマン | ㉝ 1798 |
| ㉞ 箱館 | ㉟ 1795 | ㊱ 最上徳内 |
| ㊲ 紋別 | ㊳ 1794 | ㊴ 桂川甫周 |
| ㊵ 1791 | | |

問2 次の文章の空欄(ア)～(ス)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

問1での状況をうけて、(ア)が(イ)年、幕命をうけて樺太とその対岸を探査し、樺太が島であることを発見した。その後、(ウ)年に国後島に上陸したロシア軍艦の艦長(エ)が日本の警備兵に捕えられて、監禁された一方、ロシアが翌年、(オ)を抑留するという事件が発生した。この事件は結局、(カ)年に(オ)が送還され、その尽力もあって(エ)も釈放されて、解決にいった。その後、幕府は(キ)年、蝦夷地を松前藩に還付した。

一方、イギリス軍艦の(ク)号が(ケ)年、当時は敵国としたオランダ船を追って長崎に入り、オランダ商館員を捕らえ、薪水や食糧を強要し、やがて退去するという事件が発生した。その後も、イギリス船やアメリカ船が日本

近海に出没したため、幕府は(コ)年、異国船打払令を出し、(サ)年にアメリカ船が漂流民の送還と貿易交渉のために来航した際も、これを撃退する事件が起こった。

この事件について、翌年、(シ)は『慎機論』、高野長英は『(ス)』を著して、幕府の対外政策を厳しく批判した。しかし、幕府は翌年、彼らを厳罰に処した。

〔語群〕

- | | | | |
|---------|--------|---------|----------|
| ① 中浜万次郎 | ② 1821 | ③ 1807 | ④ ゴルドン |
| ⑤ 1812 | ⑥ 伊能忠敬 | ⑦ モリソン | ⑧ 林子平 |
| ⑨ フェートン | ⑩ 1839 | ⑪ 江川英龍 | ⑫ 1811 |
| ⑬ 1820 | ⑭ リコルド | ⑮ 間宮林蔵 | ⑯ 跋扈臣潮伝 |
| ⑰ 1826 | ⑱ 小関三英 | ⑲ 1814 | ⑳ フボオストフ |
| ㉑ 1813 | ㉒ 1822 | ㉓ 戊戌夢物語 | ㉔ 1809 |
| ㉕ 1828 | ㉖ 1837 | ㉗ 1824 | ㉘ 高田屋嘉兵衛 |
| ㉙ 松平康英 | ㉚ 1810 | ㉛ 1825 | ㉜ 1827 |
| ㉝ 1836 | ㉞ 1808 | ㉟ 1838 | ㊱ 松浦武四郎 |
| ㊲ 渡辺崋山 | ㊳ 1815 | ㊴ 川路聖謨 | ㊵ ゴローウニン |
| ㊶ 洗心洞筈記 | ㊷ 浜田彦蔵 | | |

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

第二次世界大戦で300万人以上の犠牲者を数えた敗戦後の日本では、新たに主権在民の国家の礎を築いていく必要があった。その起点には事実上、アメリカ軍による占領期がある。期間は日本のポツダム宣言受諾から、1952年4月28日のサンフランシスコ平和条約が発効するまでの約7年に及んだ。この間、現在に連なる日本の憲法や各種制度が産声をあげる。敗戦時の鈴木貫太郎内閣から独立時の第三次吉田茂内閣に至るまで、6名の首相が占領期の内閣を組織した。

憲法をしのぐ超法規的な性格を有したポツダム宣言は、初期占領政策の指針となった。戦中、これを提示した3ヶ国を含む、連合国11ヶ国が極東委員会を組織し、アメリカは実質的にその主導権を握った。実際にマッカーサーが連合国軍最高司令官として1945年8月30日に日本の厚木飛行場に降り立つと、20日余り後にアメリカの(ア)が公表され、9月24日付の新聞各紙に全文が掲載された。

占領期の日本では、極東委員会やGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)によって民主化と武装解除が図られた。民主化の主な措置としては人権指令や五大改革が挙げられ、現代に連なる様々な制度や組織が導入、確立された。

経済の民主化として真っ先に取り組みされたのが、軍国主義の温床と目された財閥解体であった。1945年11月に15財閥の資産凍結・解体が命じられ、翌年には(イ)が発足し、財閥の傘下企業支配を一掃しようとした。さらに持株会社、カルテル・トラストの禁止のため、独占禁止法が制定され、以後、(ウ)がこれを監視した。また巨大独占企業の分割を図って(エ)も制定された。

日本の労働者の環境についても、国内市場の狭さを解消し、対外侵略への歯止めをかけようと、GHQは労働基本権の確立と労働三法の制定を図り、労働者としての権利を保障しようとした。

日本の対外侵略の動機として農民層の窮乏にも目をつけたGHQは、農地改革の実施を求めた。1945年12月に日本政府が提出した案は不徹底とされ、翌年10月から第二次農地改革が開始され、(オ)が制定された。この結果、農家の大半が零細自作農となった。

一方、ポツダム宣言で「一切の戦争犯罪人に対しては嚴重なる処罰を加えられ

るへし」とあったように、戦争指導者^(j)や戦時国際法を犯したとされた者たちは、戦犯^(k)として極東国際軍事裁判所、および連合国側関係諸国の裁判所で裁かれた。しかしアメリカは天皇を戦争犯罪人として処遇することによる混乱を避け、天皇を戦犯容疑者に指定しなかった。

GHQは日本の最高法規である憲法の制定においても主導権を握った。憲法は時の首相である(カ)にいったん委ねられ、(キ)を長とする憲法問題調査委員会が組織された。しかし同委員会が提出した改正試案は、旧態に復するものと退けられた。

これを受けてマッカーサー自身の手による草案が作成された。さらに日本政府はこれに修正を加え、手続き上は大日本帝国憲法の改正という形式をとって日本^(l)国憲法の政府原案とした。

敗戦から約1年3ヶ月後の1946年11月3日、主権在民・平和主義・基本的人権の尊重を三原則とする日本国憲法が公布された。新憲法の制定に基づき民法^(m)や、刑法は大きく改められ、併せて新たに地方自治法や警察法が成立した。⁽ⁿ⁾

しかしこの後世界情勢の変化に伴い、アメリカの初期占領政策は大きく転換した。^(o)それを伝える象徴的な条約が、1951年9月8日のサンフランシスコ平和条約調印の際、同日に調印され締結された日米安全保障条約である。同条約の第3条に基づき、運用上のルールを定めた(ク)^(p)もサンフランシスコ平和条約と同時に発効した。日本の独立は、引き続き米軍の駐留を認める日米安全保障条約、(ク)と表裏一体となって、実現に至った。

問1 空欄(ア)～(ク)に入るもっとも適切な選択肢を以下の【語群】から1つずつ選び、それぞれ答えなさい。

【語群】

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| (1) 高野岩三郎 | (2) 松本烝治 | (3) 美濃部達吉 |
| (4) 鈴木安蔵 | (5) 森戸辰男 | (6) 幣原喜重郎 |
| (7) 近衛文麿 | (8) 鳩山一郎 | (9) 吉田茂 |
| (10) 寺崎英成 | (11) 日米地位協定 | (12) 賠償協定 |
| (13) 日米行政協定 | (14) 経済安定本部 | (15) 教育委員会 |
| (16) 公正取引委員会 | (17) 対日理事会 | (18) 持株会社整理委員会 |
| (19) 日本労働組合総評議会 | | (20) 初期の対日方針 |
| (21) 金融緊急措置令 | (22) 学校教育法 | (23) 自作農創設特別措置法 |
| (24) 農地調整法 | (25) 労働基準法 | (26) 労働関係調整法 |
| (27) 大西洋憲章 | (28) 過度経済力集中排除法 | |
| (29) 連合国共同宣言 | (30) 公職追放 | |

問2 下線部(a)～(p)に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 下線部300万人以上の犠牲者のうち、ポツダム宣言発表前に、最も多く
(a)の犠牲者を数えた出来事は何か。以下の選択肢から、犠牲者数の多いものから順に2つ選びなさい。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| ① 沖繩戦 | ② 神戸大空襲 | ③ 広島への原爆投下 |
| ④ 長崎への原爆投下 | ⑤ 名古屋大空襲 | ⑥ 横浜大空襲 |
| ⑦ 東京大空襲 | ⑧ 大阪大空襲 | |

(2) 下線部 6名の首相 ^(b) について、鈴木首相、吉田首相を除く4名を就任順に並べると、以下のうち正しいものはどれか。適切な選択肢を1つ選びなさい。

- ① 幣原喜重郎 — 片山哲 — 芦田均 — 石橋湛山
- ② 東久邇宮稔彦 — 芦田 — 幣原 — 鳩山一郎
- ③ 幣原 — 芦田 — 片山 — 鳩山
- ④ 東久邇宮 — 幣原 — 片山 — 芦田
- ⑤ 東久邇宮 — 芦田 — 幣原 — 片山
- ⑥ 幣原 — 東久邇宮 — 芦田 — 石橋

(3) 下線部 ポツダム宣言 ^(c) に先立って、連合国は枢軸国に対する戦略や戦後処理について、カイロ会談やヤルタ会談でも話し合ってきた。この2つの会談に参加していた国の適切な組み合わせを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

(注) 選択肢は(カ)カイロ→(ヤ)ヤルタの順に示すものとする。

- ① (カ)米・英・仏→(ヤ)米・英・ソ連
- ② (カ)米・英・仏→(ヤ)米・英・中
- ③ (カ)米・英・中→(ヤ)米・英・ソ連
- ④ (カ)米・仏・ソ連→(ヤ)米・英・仏
- ⑤ (カ)米・仏・中→(ヤ)米・英・ソ連
- ⑥ (カ)米・仏・ソ連→(ヤ)米・仏・中

(4) 下線部 極東委員会 ^(d) が発足した当初、これを構成した11ヶ国として、正しくない国を以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ① アメリカ ② イギリス ③ フランス
- ④ オランダ ⑤ インド ⑥ フィリピン
- ⑦ インドネシア ⑧ 中国 ⑨ ソ連
- ⑩ オーストラリア ⑪ ニュージーランド ⑫ カナダ

(5) 下線部^(e)人権指令の説明として、以下の選択肢から適切でないものを1つ
選びなさい。

- ① 治安維持法の廃止を求めた。
- ② 宗教団体法の廃止を求めた。
- ③ 政治犯、思想犯の釈放を求めた。
- ④ 特高警察の解体を求めた。
- ⑤ 内務省の廃止を求めた。
- ⑥ 正式名称は「政治的、市民的及宗教的自由に対する制限の撤廃に関する覚書」。
- ⑦ この指令の他方で、GHQは占領軍の批判を禁じ、新聞を検閲していた。
- ⑧ これを固辞した当時の鈴木首相は、総辞職した。

(6) 下線部^(f)五大改革の説明として、以下の選択肢から適切でないものを1つ
選びなさい。

- ① 選挙権付与によって婦人解放を指令した。
- ② 労働組合が結成されることを奨励した。
- ③ 自由教育のための学校開設を指令した。
- ④ 秘密警察を廃止し、司法制度の確立を指令した。
- ⑤ 経済機構の民主化を指令した。
- ⑥ 日本側には、最初にマッカーサーから口頭で伝えられた。
- ⑦ 政府が神社、神道を支援することを禁じた。
- ⑧ 天皇の「新日本建設に関する詔書」以前に指令された。

(7) 下線部財閥解体の対象となった日本の財閥には、国からの特権を享受してきた企業^(g)が少なくない。日本の財閥の説明として、適切でない選択肢を以下から1つ選びなさい。

- ① 政府から特権を与えられて独占的利益を上げた資本家は政商と呼ばれ、後の財閥の基盤を築いた。
- ② 15財閥のうち四大財閥はすべて、かつて官営鉱山の払い下げを受けた。
- ③ 四大財閥は明治末期や大正期に持株会社を設立し、多くの財閥傘下企業の株を所有していた。
- ④ 15財閥のうち、日産、日窒、理研、中島、日曹は、軍需産業拡張で生まれた新興財閥であった。
- ⑤ 15財閥のうち、野村、渋沢は銀行中心の財閥であった。
- ⑥ 1947年に指定財閥家族は財界から追放された。

(8) 下線部労働三法の制定とあるが、各法とその説明として適切でないものを、以下の選択肢から1つ選びなさい。^(h)

- ① 労働組合法は、労働者の団結権、団体交渉権、争議権のいわゆる労働三権を保障した。
- ② 労働組合法は、結果的に官民を問わずに労働組合の結成を促し、全国組織は右派と左派とに分かれた。
- ③ 労働関係調整法によって、争議調整方法や争議行為の制限が規定された。
- ④ 労働関係調整法によって、中央・地方の労働組合が設置された。
- ⑤ 労働基準法によって、労働基準局、労働基準監督署が置かれるようになった。
- ⑥ 労働基準法によって、女子・年少者の深夜就業が禁止された。

(9) 下線部⁽ⁱ⁾第二次農地改革の説明として、以下の選択肢から適切でないものを1つ選びなさい。

- ① 日本政府による第一次農地改革案は、GHQにより生産力向上の点で不徹底とされ、第二次改革に移った。
- ② 不在地主のすべての貸付地は、国が強制的に所有者から農地を買い上げ、小作人に安く売り渡した。
- ③ 一定の面積以上の貸付地を持つ在村地主から、国は強制的に農地を買い上げ、小作人に安く売り渡した。
- ④ 在村地主の貸付地の買い上げは、北海道で4町歩以上、都府県で1町歩以上の土地が対象となった。
- ⑤ 日本政府による第一次農地改革案では、地主の貸付地の所有限度は5町歩であったが、1町歩に改められた(在村地主のみ)。
- ⑥ この改革以後、全農地の約半分を占めていた小作地は、約1割に減少した。
- ⑦ 大地主たちは土地を強制的に買い上げられ、経済力と社会的威信を失った。
- ⑧ 実施にあたり、各市町村では農地委員会が組織され、その比率は地主3・自作農2・小作農5で構成された。

(10) 下線部戦争指導者は極東国際軍事裁判所で裁かれたが、この裁判の説明として、以下の選択肢から適切でないものを1つ選びなさい。

- ① 戦争指導者を裁判にかけるとは、1945年にロンドン協定で決定した。
- ② 戦争指導者の選定をした国際検察局は、GHQの一部局として設置された。
- ③ 戦争指導者の一部はA級戦犯となり、28人が容疑者として起訴され、7名に死刑判決が下された。
- ④ 裁判は1946年5月に開廷し、A級戦犯への判決は、1948年11月に下された。
- ⑤ 11人の裁判官のうち、裁判長はアメリカのキーナンが務めた。
- ⑥ インドのパル判事は全員無罪を主張した。

(11) 下線部戦犯には、「平和に対する罪」に問われたA級戦犯に加え、「戦時国際法をおかした」B・C級戦犯も含まれる。B・C級戦犯として起訴された人の人数(概数)と、死刑判決を受けた人の人数の組み合わせとして、以下の選択肢からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(注) 選択肢は、起訴された人の数－死刑判決を受けた人の数、の順に表示。

- | | | | | | | | | |
|--------|---|------|--------|---|------|--------|---|-----|
| ① 9700 | — | 1284 | ② 7700 | — | 1084 | ③ 5700 | — | 984 |
| ④ 3700 | — | 784 | ⑤ 1700 | — | 584 | ⑥ 700 | — | 384 |
| ⑦ 500 | — | 184 | ⑧ 300 | — | 84 | | | |

- (12) 下線部日本国憲法の政府原案に関わる内容として、適切でないものを、
(1)
以下の選択肢から1つ選びなさい。
- ① GHQの指示により、最初に日本政府が提出した案(憲法改正要綱)は、天皇の統治権を認めるものだった。
 - ② 憲法改正要綱では、主権在民原則と立憲君主制がうたわれていた。
 - ③ 憲法改正要綱を退けたマッカーサーは、みづから草案を英文で作成した。
 - ④ マッカーサーは草案作成の際、民間の憲法研究会による憲法草案要綱を参照した。
 - ⑤ マッカーサーの草案では、国会は衆議院のみの一院制であったが、日本政府は参議院を加えた二院制を求め、憲法に反映された。
 - ⑥ 芦田均の発案で、戦力不保持に関わる9条第2項に「前項の目的を達するため」と加筆されたのは、自衛のための軍隊保持の可能性を残すためであった。
- (13) 下線部民法や、刑法は大きく改められたとあるが、その説明として適切でないものを、
(m)
以下の選択肢から1つ選びなさい。
- ① 新しい民法では、男女同権や男女平等の婚姻がうたわれた。
 - ② 新しい民法では、戸主権が廃止された。
 - ③ 新しい民法では、家督相続が廃止された。
 - ④ 新しい刑法では、皇室に対する大逆罪、不敬罪が廃止された。
 - ⑤ 新しい刑法では、黙秘権が認められた。
 - ⑥ 新しい刑法では、妻の不倫のみを罰する姦通罪が廃止された。

(14) 下線部⁽ⁿ⁾地方自治法の説明として適切でないものを、以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ① 1947年に新たに制定された。
- ② 地方公共団体の民主的で能率的な行政を目的に制定された。
- ③ 都道府県知事が住民の直接選挙で選ばれることになった。
- ④ 市町村長が住民の直接選挙で選ばれることになった。
- ⑤ この法に伴って、内務省が廃止された。
- ⑥ この法に伴って、自治体警察が人口5,000人以上の市町村に設置された。

(15) 下線部^(o)アメリカの初期占領政策は、大きく転換したとある。これをもたらした背景として、適切でないものを以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ① 中国内戦で、共産党が国民党に対し優勢となった。
- ② 強大なソ連が東欧の小国を支配する「衛星国化」が進行した。
- ③ 朝鮮半島のソ連軍占領地域に朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
- ④ ソ連が原爆開発に成功した。
- ⑤ アメリカと西欧諸国の共同防衛組織である北大西洋条約機構が結成された。
- ⑥ ソ連と東欧7カ国の共同防衛組織であるワルシャワ条約機構が結成された。

(16) 下線部日米安全保障条約の説明として適切でないものを以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ① この条約に基づき、アメリカ軍は「極東の平和と安全」のために日本に駐留を続けることができた。
- ② 軍の行動範囲として記された「極東」の定義は不明確であり、事実上制限がなかった。
- ③ この条約に期限はなく、アメリカの日本防衛義務は明示されていない。
- ④ この条約に基づき、日本はアメリカへの施設提供の見返りに、独立後の安全保障をアメリカに依存した。
- ⑤ この条約に基づき、日本は全交戦国との全面講和ではなく、西側諸国のみとの片面講和で独立することになった。
- ⑥ この条約に基づき、アメリカは日本のどの地域でも、基地として要求することができる。

